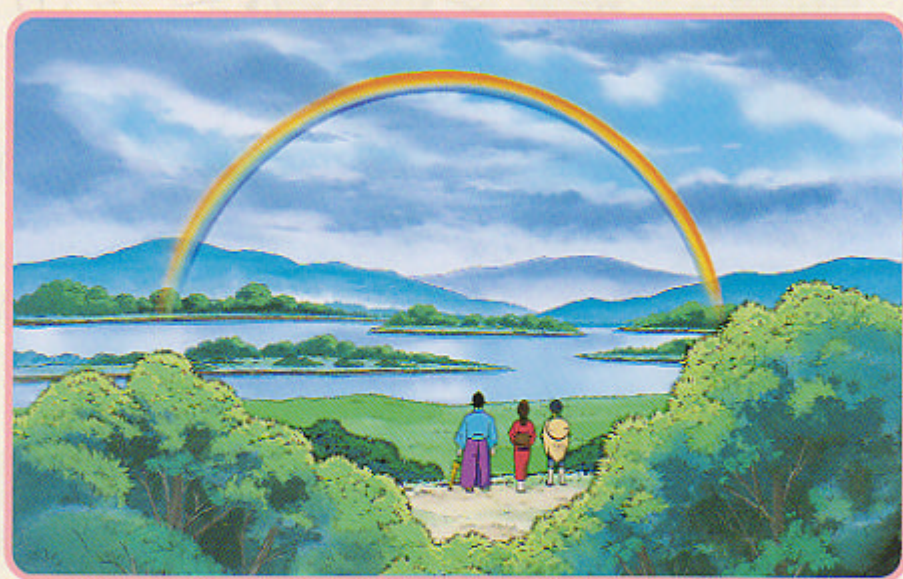


アニメーション

し ぶ そ め い つ き

# 渋染一揆



## 制作のねらい

このたび、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けた教育・啓発に役立てたいと考え、岡山県における歴史的事実である渋染一揆をもとに、アニメーション映画を制作しました。

渋染一揆は、岡山藩における出来事です。江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人闘としての誇りをかけた要求を貫いて成功させた取り組みです。

この映画を視聴していただき、筋道を立てた要求と整然とした行動などから、不当な差別に生命をかけて立ち向かった人々の勇気や、人権を守ることの大切さについて話し合うきっかけにしていきたいと思えます。

なお、この映画は、史実をもとに脚本化したものであり、架空の人物も登場します。

岡山県・岡山県教育委員会



## 江戸時代後半の様子

幕府や藩は、強力な政治の仕組みで民衆を支配していましたが、貨幣経済が広がる中で、支出も増えて財政が苦しくなりました。そのため、年貢を増やしたり、政治の引き締めを行うなど、改革に乗り出しました。しかし、干ばつや冷害などで不作が続き、その上、大飢饉（天保の大飢饉）に見まわれるなど、民衆の生活は苦しく、改革に対する不満も高まって、全国各地に一揆や打ちこわしが起こっていました。



岡山城

時代	できごと
安土・桃山時代	1590年 豊臣秀吉が全国を統一する 太閤検地・刀狩を行う 身分令を出す
	1600年 関ヶ原の戦いが起こる
江戸時代	1603年 徳川家康が江戸幕府を開く 領国が完成する 身分制が固まる
	1700年 商品作物が広がる 一揆や打ちこわしが多くなる
	1800年 天保の大飢饉
	1841年 天保の改革
	1853年 ペリーが浦賀に来る
	1856年 洗染一揆が起こる
1867年 江戸幕府が滅びる	



黒船来航



## 岡山藩の改革

岡山藩においても、天保以降、凶作による年貢の減収、商人からの借金、黒船の来航による房総半島の警備などで、藩の財政は一層危機的なものとなっていました。

このような中で、藩は、改革の一環として、1855（安政2）年、29か条の「儉約令」を出しました。その内の最後の5か条は、「別段お触れ書き」と呼ばれ、百姓や町人から分け隔てられ、厳しい差別を受けていた人々（岡山藩では「かわた」と呼ばれた）だけに出されたものでした。

この「別段お触れ書き」は、「着物は無紋の洗染・藍染に限る」「雨天の時、村内の仲間（お仲間）の家に行くときは、はだしは迷惑だろうから、くり下駄（くりぞうり）を使用することは許す。ただし、顔見知りの百姓に出会ったら、下駄をぬいであいさつをする」など、かわたと百姓をことさら分け隔てる差別的な内容でした。

- 「儉約令」の一部
- 一、男女とも衣類は、木綿とすること。
  - 一、雨のときは、みの笠と使いなさい。  
手傘を仗（たすけ）ってもいいが、柄は竹で、虎地のもの。  
くり下駄のほかに履いてはいけない。
  - 一、お祝いや不幸があった時の集まりでも、料理は儉約しなさい。

「儉約令」の一部

- 「別段お触れ書き」の一部
- 一、衣類は紋がないこと。  
新しく作るときは、洗染か藍染に限る。
  - 一、雨のとき、近所（お近所）の家に行くときだけ、くり下駄を履いてもよい。  
ただし、百姓に会ったら、下駄をぬいてお辞儀しなさい。

「別段お触れ書き」の一部



## 嘆願の取り組み

この「別段お触れ書き」に対して、「かわた」の人々は、何度も寄り合いを開き、嘆願書をまとめ上げて、郡会所に差し出しました。嘆願書には、「年貢を納めている私たちは、百姓と同じように扱われて当然だ。」という思いが、筆道を通して書き進められていました。それは、厳しい身分制の社会の中で、差別を拒否し、平等を求めたものでした。しかし、期待に反し、嘆願書は差し戻されてしまいました。



寄り合い



嘆願

嘆願書の内容  
私たちは百姓と同じように土地を耕し、年貢を納めていますが、洗染の者物では働く意欲もなくなり、年貢も納められなくなりました。

## 強訴の取り組み

その後、役人が検約令への請印を厳しく迫る中で、判を押す村も出てきました。嘆願の望みが絶たれた人々は、岡山藩の筆頭家老である伊木忠澄への強訴に踏み切りました。忠澄は、このたびの検約令を出すなどの藩の改革を進めていた家老の日置忠尚と対立する立場にありました。

1856(安政3)年6月14日、吉井川八日市河原に集まった人々は、武器を持たず、虫明にある伊木家の陣屋を目指して整然と進みました。

途中、武器を持った伊木の軍勢が、榎塚付近で一揆勢と対峙しました。

一揆の代表は、伊木家の侍に、強訴に至ったいきさつと嘆願書の内容を礼儀正しく伝え、2日間にわたり、ねばり強く話し合いをしました。そしてついに嘆願書の差し出しに成功したのです。

嘆願書は藩に取り次がれました。その後「別段お触れ書き」が強制されることはなく、人々の闘いは、事実上の勝利を取めました。

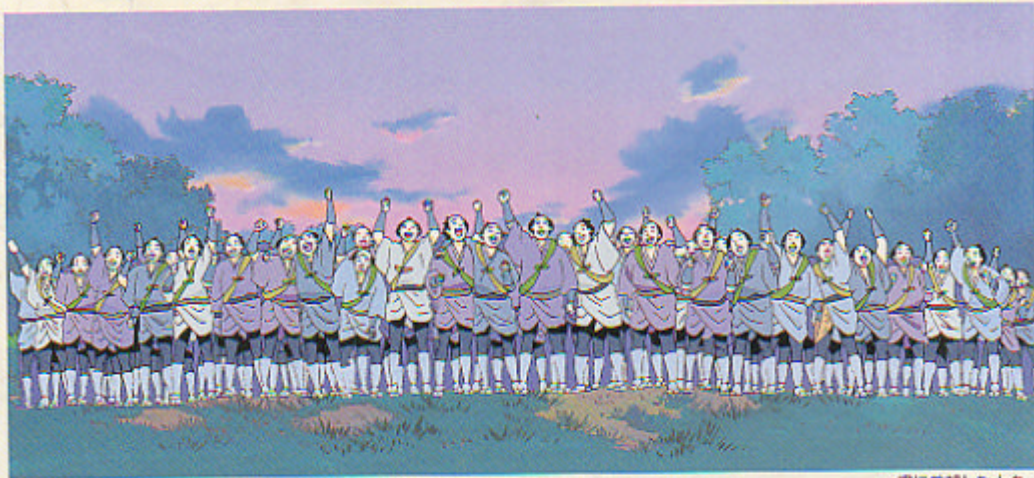


八日市河原



役人との話し合い





一揆に参加した人々

## その後の取り組み

しかし、強訴の取り組みは、法を犯すものであり、藩の取り調べの結果、12人が入牢となりました。そのうち6人は、厳しい牢内の生活のため、病で亡くなってしまいました。そして、牢内外の救免をを求める嘆願の取り組みにより、1859（安政6）年に最後まで残っていた5人が、釈放されました。

差別を拒否する要求を、生命をかけて貫いた人々の取り組みは、当時の身分制の社会の中であって、画期的な出来事でした。

この一揆に随んだ人々の精神は、明治時代の「借作平民会」（1902年、明治35年）へ、大正時代の「岡山県水平社」（1923年、大正12年）へと受け継がれ、その後の岡山県における人権獲得の取り組みに大きな影響を与えました。

1958（昭和33）年、百周年を記念して、この取り組みは、「浪染一揆」と名付けられました。



赦免



権十郎



かえで



小助

企画	岡山県・岡山県教育委員会
制作	東映株式会社
アニメーション制作	ジェイ・シー・エフ
脚本	高木謙 山上梨香
演出	平田敏夫

ナレーション	藤田淑子
声の出演	権十郎……丸山隼二 かえで……高木礼子 小助……浅野まゆみ



# 学習展開例

## (小学校第6学年社会科)

### 単元名

開国と武士の世の中の終わり

### 目標

- ① (社会的事象への関心・意欲・態度)  
江戸時代末期の人々のくらしや願い、幕府や藩の政策などについて関心をもち、進んで調べようとすることができる。
- ② (社会的な思考・判断)  
農民や町人の力の高まり、新しい学問の発達や黒船来航等と幕府や藩の政策を関連づけて考え、武士の世の中が終わっていく様子をとらえることができる。
- ③ (観察・資料活用の技能・表現)  
幕府の政策や浪染一揆の様子を資料や視覚教材(アニメーション「浪染一揆」)等を使って調べ、資料活用したりまとめたりする能力を身につけることができる。
- ④ (社会的事象についての知識・理解)  
民衆の意識の高まりや内外の情勢の変化に対応できず、幕藩体制が崩壊していき、歴史が大きく変革されていく様子を理解することができる。  
幕府政治が行きづまり、多方面から政治に対する不満が高まる中で、農民たちも団結して一揆をおこし、自分たちの生活を守ろうとしたことが理解できる。

### 指導計画 (3時間)

- 第1時 黒船来航と開国  
第2時 武士の世の中の終わり  
第3時 浪染一揆



本時案 (第3時)

目標

岡山藩による差別政策に対して、農民や町人からも差別された人々が、「別段お触れ書き」の撤廃を求め、団結して立ち上がり、差別政策を実行させなかったことをとらえることができる。

学習活動	教師の支援	資料
1 本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までに学習した、幕府の政策に対する民衆の不満が高まっていたことを想起できるようにする。</li> <li>○ 資料「別段お触れ書き(最後の5か条)」を示すことで、それを出した藩の意図や、それに対する差別された人々の行動に関心を向け、課題をつかむことができるようにする。</li> </ul>	・資料(2) 「別段お触れ書き」
藩は、どのような目的で「別段お触れ書き」を出し、人々はそれに対してどんな行動を起こしたのだろう。		
2 学習問題について予想を立て、調べる観点を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アニメーション「洗染一揆」を有効に活用できるよう、予想を立てながら、次のような観点で調べればよいことに気付かせる。</li> </ul> <p><b>調べる観点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 このころの岡山藩は、どんな様子だったのだろう。</li> <li>2 「俵約令」と「別段お触れ書き」の違いはどんなことだろう。</li> <li>3 「別段お触れ書き」に対して、人々はどんな行動をとったのだろう。</li> </ol>	
3 洗染一揆について調べ、話し合う。 ・アニメーションを視聴し、調べたことをまとめる。  ・全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アニメーション「洗染一揆」を一緒に視聴した後、アニメーションと資料をもとに調べたことをワークシートにまとめることで、観点に沿って考えやすくする。</li> <li>○ 調べる観点に沿って、調べたことを出し合い、関連付けながら話し合うことを通して、人々の願いや取り組みの特色をとらえることができるようにする。</li> <li>○ 前時までの学習と関連づけ、岡山藩も財政難の立て直しの必要に迫られていたことを洗染一揆の背景として理解できるようにする。</li> </ul>	・アニメーション 「洗染一揆」 ・ワークシート
(観点1)	○ 「俵約令」と「別段お触れ書き」の内容を比較させ、「別段お触れ書き」の目的は、「俵約令」による農民の不満をおさえ、藩の支配を立て直すためだったことに気付くことができるようにする。	・資料(1) 「俵約令」
(観点2)	○ 「別段お触れ書き」のことを知ったときの小助や権十郎の気持ちを考えさせることで、「別段お触れ書き」は人間としての誇りを傷つける、不合理な内容であることが理解できるようにする。	
(観点3)	○ 「別段お触れ書き」に対する差別された人々の取り組みを類を巡ってまとめていくことで、人々の考え、願い、取り組みの特色等をとらえやすくする。	
	○ 一揆前夜の小助や権十郎の心情等を考えさせることで、願いの強さや、命がけの取り組みであったことなどに気付くことができやすくする。	
4 本時のまとめをする。	○ アニメーションの内容をもとに、一揆に臨んだ人々の精神は、明治・大正時代へと引き継がれ、その後の岡山県における人権獲得の取り組みに大きな影響を与えたことにも触れ、差別解消への展望をもたせるようにする。	
岡山藩は、厳しい「俵約令」に対する農民の不満をおさえ、支配を立て直すため、農民や町人からも差別された人々に「別段お触れ書き」を出したが、それに対して、差別された人々は団結して立ち上がり、実行させなかった。		

# 板書例

## 「岡山藩飢餓令」資料(1)

- 着るものは木綿……………
- ……料理は俵約……………
- 雨の時は……………
- ……………
- ……………

## 「別段お触れ書き」資料(2)

- 着るものは、洗染・藍染…
- 雨の時……くりげた……
- 下駄をぬいであいさつ…
- ……………
- ……………

・着物の制限 ・はき物の制限 ・おじぎ

## 学習問題

藩は、どのような目的で「別段お触れ書き」を出し、人々はそれに対してどんな行動を起こしたのだろうか。

<予想> (藩の目的) ……

(人々の行動) ……

<調べる観点>

- このころの岡山藩は、どんな様子だったのだろうか。
- 「飢餓令」と「別段お触れ書き」の違いはどんなことだろうか。
- 「別段お触れ書き」に対して、人々はどんな行動をとったのだろうか。

<わかったこと>

(このころの岡山藩の様子)

(「飢餓令」との違い)

権十郎の気持ち 小助の気持ち

## 洗染一揆

みんなで何度も話し合って  
加通の通った内容

たくさんの人・命をかけて  
毅然とした行動  
武器を持っていない

(人々の行動)

謀 画

通 信

成 功

その他の取り組み

## ま と め

岡山藩は、厳しい「飢餓令」に対する農民の不満をおさえ、支配を立て直すため、農民や町人からも差別された人々に「別段お触れ書き」を出したが、それに対して、差別された人々々は団結して立ち上がり、実行させなかった。